

～東武日光駅前広場～

路面電車の内部を公開します！

令和2年3月から東武日光駅前広場に展示している路面電車(東武100形電車)の内部を、8月9日(金)に公開いたします。ご来場の方には、先着500名様に当時の写真と路線が記載された「電車カード(昨年と同じもの)」を配布いたします。

1. 公開日時 令和6年8月9日(金)
午前10時～午後4時
※雨天など天候不良時は中止
2. 開催場所 東武日光駅前広場
3. 参加料 無料
4. 定員 なし(混雑時に入場制限あり)
5. 駐車場 なし
6. その他 電車カードは裏面参照



▶日光軌道線とは・・

1910年(明治43年)、古河鉱業(現 古河電気工業)日光電気精銅所の貨物輸送を主目的として、日光電気軌道株式会社が停車場前～岩の鼻間で開業したもので、当初から日光地域の観光輸送の一翼を担っていました。その後、1947年(昭和22年)の会社合併により東武日光軌道線となりましたが、旅客数や貨物数の激減により、1968年(昭和43年)、58年の歴史に幕を閉じました。

▶展示車両について

この車両は1953年(昭和28年)から1968年(昭和43年)の間、日光駅前から馬返までの全長10.6kmを走った東武100形電車10両のうちの1両を当時の姿に復元したものです。

▶日光軌道線開業日について

日光軌道線の開業日は明治43年8月10日です。

【本件に関する問合せ先】

日光市地域振興部 日光行政センター地域づくり推進係 担当:安田
電話:0288-54-1112 MAIL:nikko-chiiki@city.nikko.lg.jp

【電車カード表面】



東武鉄道日光軌道線

【電車カード裏面】

東武鉄道日光軌道線

形式番号：100形
 定員：96名（内座席28名）
 客室面積：20.60㎡
 最大寸法：12,350×2,200×3,552mm
 自重：15.0 t
 運行期間：1910年～1968年

馬返							日光
横手							東武日光
清滝							石原町
丹勢下							警察署前
古河7&2前	電車庫前	安良沢	花石町	田母沢	西参道	公会堂前	下河原橋
							市役所前

日光軌道線の歴史

西暦	概要
1910年	停車場前（後の国鉄駅前）～岩の鼻間8.0km営業開始
1913年	岩の鼻～馬返間2.2km延伸、全線開通
1933年	停車場前～松原町（後の東武駅前）間ループ線となる
1953年	新車100形10両導入（100形101～110）
1954年	連接車200形6両導入
1964年	国鉄駅前～東武駅前間のループ線運転廃止
1968年	日光軌道線廃止
1968年	岡山電軌が100形10両を2年かけて買収
2013年	109号が日光市の観光施設に寄贈される
2019年	109号が日光市に寄贈される

表写真撮影：中谷文夫氏 提供：東武博物館